

平成28年11月15日

相模原市発表資料

心に残るあの作家シリーズ#13

伝説のカーデザイナー

富谷龍一

風景スケッチ展

会期：平成28年11/26 [土]

～平成29年1/15 [日]

時間：9:00～20:00【鑑賞無料】

[土・日曜日、祝日は～17:00]

12/29～1/3 休館



会場：相模原市民ギャラリー ミニ展示コーナー  
「アートスポット」  
(相模原市中央区相模原 1-1-3 セレオ相模原 4階)

色鉛筆・水彩 昭和50(1975)年

本市に研究所を開いていた故・富谷龍一は、自動車の設計やデザインを手掛けるカーデザイナーの草分け的存在であると同時に、ユニークな機械生物「メカニマル」の発案者としても知られていました。

このたび、昭和50年代初期に同氏が描いた相模原のスケッチ画が寄贈されたことを機に、これを紹介しながら画力にも定評のあった富谷龍一の側面に光をあてます。

### 【経歴】

明治 41(1908)年 東京生まれ  
大正 13(1924)年 川端画塾入門  
昭和 3(1928)年 東京高等工芸学校(現千葉大学)図案科卒業  
昭和 9(1934)年 自動車製造株式会社(現在の日産自動車)入社  
昭和 11(1936)年 スポーツカー、ダットサン「レーサー」を設計  
昭和 24(1949)年 住江製作所(現在の住江工業)入社  
昭和 26(1951)年 ダットサン「スリフト」「コンパー」デザイン制作  
昭和 29(1954)年 小型軽量車「フライングフェイザー」発表  
昭和 31(1956)年 富士自動車入社。超小型車「フジキャビン」開発  
昭和 32(1957)年 「フジキャビン」発表  
昭和 33(1958)年 セントラル自動車入社。デザインなど指導  
昭和 43(1968)年 機械生物「メカニカルアニマル」(メカニマル)制作  
昭和 45(1970)年 東京工業大学森政弘教授主宰「自在研究会」参加  
昭和 47(1972)年 富谷研究所設立。学研より「メカモ」販売  
昭和 50(1975)年 沖縄海洋博覧会に「メカニマル」出品  
「ニューフライングフェイザー(NFF)」を開発  
この頃、相模原の風景スケッチ画を描く  
昭和 51(1976)年 東京芸術大学デザイン科特別講師  
昭和 53(1978)年 東海大学海洋科学博物館にメカニマルを展示

昭和 57(1982)年 新宿 NSビル「ユックリズム振り子時計」原案  
平成 9(1997)年 逝去  
平成 25(2013)年 日本自動車殿堂入



フジキャビン  
写真提供：トヨタ博物館



学研教材：メカモ

問合せ先：相模原市民ギャラリー  
電話：042-776-1262  
担当：柳川・小山内(おさない)